

愛知総合工科高校附属中学校 Q&A 集(2026年6月現在)

	質問	回答
A 学校全般について		
1	35 人募集とのことですが、学年で1クラスのみになりますか？	はい、学年1クラスのみです。小規模校となりますが、他学年や高校生との交流機会を積極的に設けることで、異学年や他者との交流の場をできる限り確保します。
2	附属中学校にはどのような先生が配置されますか？ 愛知総合工科高校の先生も中学校にかかわってもらえますか？	小・中学校での勤務経験をもつ教員と、高校での勤務経験をもつ教員が配置されています。そのため、義務教育での指導経験と高校における専門的な学びの両面を生かした学校づくりを行っています。また、愛知総合工科高校の教員にも積極的に中学校教育に関わってもらい、専門的な学びにつなげています。
3	通学(募集)範囲は決まっていますか？	愛総中は全県募集のため、愛知県内のどこからでも通学可能です。遠方から通学する場合は、家庭での出発・帰宅時刻や交通機関の利用について、安全面に十分配慮してください。 なお、県外在住の方は、入学式の前日までに愛知県内に保護者とともに確実に居住する場合に出願できます。詳細は愛知県教育委員会までお問い合わせください。
4	他の中学校と違い、附属中学校独自で必要となる経済的な負担はありますか？	愛総中は県立(公立)学校のため、授業料や入学金は不要です。ただし、本校だからこそできる、特色ある学びを提供するため、市町村立中学校より経費がやや多くかかることが見込まれます。おおよその目安として、教材費や給食費などを合わせて、毎月15,000～20,000円(年間で総計約20万円)程度の集金を予定しています。
5	中学生が参加できる部活動はありますか？ またどのような活動内容ですか？	中学校独自での部活動設置は行いません。ただし、高校の工科系部活動のうち中学生の受け入れが可能なものについて、体験的な活動を行っています。 2026年では「理工探究部」「STEM 研究部」「化学技術部」「機械技術部」「電気技術部」「建設技術部」「デザイン技術部」の7つで中学生の受け入れを行っています。
6	学校外のクラブチームへの参加や学習塾に通うことはできますか？	可能です。学校外での活動に制限は設けません。 なお、愛総中は中体連や文化連盟には所属しません。そのため、個人種目であっても本校の部活動として大会に参加することはできません。
7	障害等のある生徒への配慮はありますか？	個別の指導計画や学校生活管理指導表をもとに、学校生活において可能な限りの合理的配慮を行います。配慮内容や方法についての詳細は個別にご相談ください。ただし、愛総中には特別支援学級は設置されず、支援員・通級指導員等配置の予定はありません。受検時の配慮については、愛知県教育委員会までご相談ください。

8	女子生徒はどのくらいいますか？	一期生では入学生の約30%が女子生徒となりました。産業界ではものづくり・理系に興味関心を持つ女性が必要とされています。愛総中でも女子生徒の積極的な受け入れを行っていく予定です。 また、附属中学校の開校に伴い体育館に女子更衣室を新設するなど、女子生徒の受け入れに向けた環境整備を進めています。
---	-----------------	---

B 教育内容について

1	工科高校の附属中学校ということで、工業に関する教科が設置されたり、国語や社会の授業が減ったりすることはありますか？	愛総中では総合的な学習の時間の時間数を増やして、理工学・情報・ものづくりに関するテーマを中心に、探究的・体験的な学びを数多く取り入れると共に、教科との連携を図ります。 しかし、工科高校の附属であっても、中学校として義務教育を行うため、学習指導要領に基づいた普通教育を実施します。総合的な学習の時間以外の教科の時間数や種類については、市町村立中学校と変わりません。
2	チャレンジ100ではどのような体験ができますか？	理工学・情報・ものづくりに関しては、高校の教育資源を活用し、社会で活用されている技術を実践的に体験します。特に高校の5系列（理工・機械・電気・建設・デザイン）につながる内容を充実させます。 そのほか、仲間づくりやキャリア学習など、理工学以外の分野についてもバランスを考え、多様な体験を行います。
3	数学・理科だけでなく、英語でも少人数授業を取り入れるのはなぜですか？	愛総中ではグローバルに活躍できる人材育成も目指しています。そのため、英語の授業を少人数できめ細かに行うとともに、グローバル教育プログラムの導入を行っています。
4	通知表や評定（内申点）の付け方は他の中学校と違いますか？	評定の付け方や評価方法については、義務教育を行う学校として他の多くの中学校と同様です。
5	1人1台端末は配付されますか？また、活用する予定はありますか？	県で準備したタブレット端末を全員に貸与します。教科授業だけでなく学校生活や総合的な学習の時間でも積極的に活用し、社会で役立つスキルの習得を目指します。
6	中学校在学中から資格・検定などを受検することはできますか？	全生徒に資格取得を求めることはありません。ただし、電気工事士や MOS、P 検など、部活動や興味に応じて紹介・支援していきます。
7	家庭学習はどのくらいの分量をだされますか？	固定化した家庭学習をだすことはしていません。 お子様の「自律・自主」を育むため、一律に課すのではなく、生徒自身が必要に応じて取り組める形を模索しています。
8	不器用で工作などが苦手なため、学習や体験に不安があるが、大丈夫ですか？	愛総中で行う多くの体験は、中学生の発達段階や安全性を十分に考えて行います。 そのため、理工学やものづくりへの高い意欲があれば大丈夫です。

9	発表する機会が多いということでしたが、人との関わりが苦手な心配です。大丈夫でしょうか？	社会につながる工科高校の附属中学校として、早い段階から、発表する、人とつながる機会を多くとりいれます。積極的に取り組むことで、自信をもてるよう支援していきます。
10	中学校に図書室はありますか？	中学校専用の図書室はなく、高校の図書室を中学校と共用します。現在、高校図書室の蔵書数は約 9,000 冊です。今年度からは中学生向けの蔵書を増やしていきます。 高校の開館時間は昼休みと業後に設定されており、中学生もそれに準じています。

C 行事について

1	修学旅行で海外に行くなど、海外研修の予定はありますか？	修学旅行は、生徒とともに行き先や目的を考えていきます。ただし、県立の中学校として、愛知県の準則（関東・中部・近畿地方を宿泊地とする）に沿った実施とします。
2	学年に1クラスしかない学校で、どのように体育大会や文化祭を行うのですか？	学校行事は可能な限り愛知総合工科高校と合同で開催し、高校生との交流や、高校生の学習成果を中学生が享受できる環境を整えています。

D 学校生活について

1	チーム担任制ということでしたが、どのような形で導入しますか？	中学校の教員は全員が学級担任である。という意識のもと、他責にならない学級・学校経営を進めています。 ただし、入学当初については、ある一定の期間を経てから担任を交代するなど、小学校との違いを少なくすることで、生徒が安心して学校生活を送れるよう配慮を行うことも考えられます。
2	食物アレルギーがあるが、給食でアレルギー除去食対応はありますか？	愛総中の給食は業者納入の一括ランチボックス形式であり、アレルギー対応はできません。 また、愛知県立の学校では部分配膳や自己除去が認められていないため、アレルギーのある場合は弁当持参をお願いします。詳細は個別にご相談ください。
3	給食を注文せずに、弁当を持参することは可能ですか？また、給食を注文しない日を設定することはできますか？	事前に登校しない日が分かっている場合やアレルギー対応、宗教上の理由等、事前に学校に連絡をしていただくことで、給食を注文しないことも可能です。
4	自転車通学はできますか？	可能です。利用範囲の制限もありません。ヘルメット・レインコートの着用や交通安全・ルールについて、ご家庭でも注意喚起をお願いします。
5	スマートホンや GPS を持たせることは可能ですか？	登下校時の安全管理や緊急連絡のため、スマートホン等の持参は認めています。 一方で中学生においては、校内では利用しないように指導をしています。

6	登下校を自家用車で送迎してもいいですか？	本校には十分な駐車場がないため、原則として自家用車で の送迎や来校はご遠慮ください。ただし、特別な配慮が必要な 場合や緊急時はこの限りではありません。
7	工科高校の附属中学校という ことで、校則は厳しくなりま すか？	具体的な校則については、高校に準則した運用を行ってい ます。一方で「社会につながる工科高校に接続する学校」であ ること、「自律を教育目標に掲げる学校」であることの両面か ら、生徒とともに新しい校則をつくっていく予定です。
8	登校・下校時間に規定はあり ますか？	8:45から朝の会が始まるため、それまでに登校してくださ い。下校は15:50が基本（2年生から水曜日のみ16:30）と なります。 部活動や課外活動に参加する場合は、季節によらず最終下 校を17:00としています。
9	制服以外の学用品はどのよ うなものがありますか？	体育用ビブスと校内スリッパ・体育館シューズについては、 学校指定品の準備をお願いしています。一方で、ご家庭の負担 を抑える方法も検討しています。 また、中学校段階では作業服や安全靴等の専門的な学用品 の準備をお願いする予定はありません。
10	登下校時に買い物をすること や、校内の自動販売機の利用 は認められますか？	遠方から通学する等、登校に時間を要する生徒が多くなるこ とから、学外での買い物に制限を設けていません。また、校内 の自動販売機の利用についても同様です。 ただ、貴重品の管理は各自の責任で行ってもらいます。
11	登下校時の服装に規定はあ りますか（猛暑時など）？	愛総中は制服としてポロシャツなどを選択できること、公共 交通機関の利用者が多いことなどから、登下校は制服を基本 としています。

E 入学者選抜について

※本項目については、愛知県教育委員会の Web ページをご覧ください。

1	適性検査ではどのような問 題がでますか？ 対策や傾向はありますか？	適性検査はすべて学習指導要領の範囲内で出題されます。 複数の教科を組み合わせた内容で、英語の内容は出題しませ ん。また、知識・技能を活用した思考力・判断力・表現力等を測 ります。全問選択式で、マークシートでの回答となります。 詳細は県教育委員会の Web ページをご覧ください。
2	志願理由書に記述する探究 活動の内容は理工学やものづ くりに関する内容でなければな りませんか？	志願理由書には、志願者本人が自らの好奇心に基づいて行 った探究活動の経験を中心に記入してください。 なお、探究活動の内容について、指定はありません。
3	二次選抜の面接ではどのよ うな質問がされますか？	志願理由書の内容をもとに、志望動機や探究活動の経験な どについて質問します。
4	受検倍率はどのくらいにな りますか？	一期生の入学志願者は100人であり、倍率は2.85倍でし た。

F 中高の接続について

1	附属中学校から愛知総合工科高校に進学するための条件はありますか？	ありません。全員が無試験・無条件で内部進学できます。
2	附属中学校卒業時に他の高校を受検することはできますか？	愛知県立附属中学校では、6年間の計画的・継続的な教育を行うことを想定しています。なお、愛知総合工科高校への内部進学の権利を辞退した上で、他の高校を受験することは可能です。
3	高校進学時に、他の中学校から入学してきた生徒とクラスは混ざりますか？	現在検討中です。愛総中入学後の学習や生活の様子をみて判断します。
4	愛知総合工科高校進学後に理工科以外の学科へ進むことはできますか？	愛総中は理工科への進級を基本としており、理工科には無条件で進級することができます。理工科への無条件進級を辞退した上で、高校から入学した生徒と同じように選科を行うことは可能です。

G 高校について

1	高校卒業後の進路にはどのようなものがあるか教えてください。	愛知総合工科高校は将来日本を支えるテクノロジストの育成を目指す工科高校で、進学にも力をいれています。毎年卒業生の6割程度が進学（本校専攻科を含む）、4割程度が就職しています。 毎年、進学者の1割程度が国公立大学へ進学をしています。また、地元の大手企業に就職したり、技術職を中心に公務員として採用されたりするなど、幅広い進路実現が可能です。 詳細は高校の Web ページをご覧ください。
2	附属中学校から高校に進学した生徒は、高校から入学してきた生徒と比べて、進路選択で有利になることはありますか？	大学入試や就職試験で特別に優遇されることはありません。ただし、早い段階から探究活動に取り組み、理工学・情報・ものづくりを中心とした経験を積むことで、多様なキャリアを知り進路実現に向けた準備ができるという利点が考えられます。
3	入学後に行われる選科の方法について教えてください。	現在の高校では、1年生の後期から5系列（理工系・機械系・電気系・建設系・デザイン系）に分かれ、2年生から7学科（機械系が機械加工科と機械制御科、電気系が電気科と電子情報科となる）に分かれて専門教科を学習しています。 選科は、生徒の適性・学習成績・生活態度等を考慮し、個人面接を実施した上、総合的に判断して行います。
4	高校入学後に文系に興味をもった場合、どのような進路が考えられますか？	数は少ないですが、総合型選抜や推薦入試を活用して文系大学へ進学する生徒もいます。ただし、工業科である愛知総合工科高校は普通科高校に比べて文系科目の授業時間は少なく、カリキュラムに含まれていないものも多いため、自力での学習負担は非常に大きくなります。将来的な展望や進路希望を十分に考えたうえで出願されることを勧めます。

5	中学校で給食が導入されるにあたり、高校でも給食の提供が行われるようになりますか？	高校において給食が導入される予定はありません。 現在、高校生は弁当を持ってきたり、校内の購買を利用したりしています。また、2024年度から、特定期間において注文弁当の配達を試行しており、今後希望者への導入を検討しています。
---	---	---

H その他		
1	附属中学校では PTA が組織されますか？	附属中学校では高校と一体化したPTAを組織しています。生徒のために、保護者同士の連携も充実しており、参加されている方々からは好意的な声が多く聞かれます。
2	懇談会や授業参観はどの程度行われる予定ですか？	懇談会・授業参観は高校の保護者会と時期を合わせて行います。積極的な情報提供も合わせて、保護者の皆様とともに歩む学校づくりを進めたいと考えています。
3	台風による暴風雨（雪）警報発令時や災害発生時の授業はどうなりますか？	学校所在地となる「名古屋市」「生徒居住地」「通学経路の市町村」のいずれかで該当する警報が発令されている、もしくは災害等、安全な登下校ができない場合は、「出席しなくてもよい日」として扱います。詳細は中学校 Web ページをご覧ください。
4	現在、居住地で就学支援を受給しているが、附属中学校でも継続して受給することはできますか？	県立附属中学校に在籍していても条件を満たせば就学支援の受給対象となります。 ただ、義務教育における就学支援は市町村の業務となるため、お住まいの市町村に申請いただくことになります。